

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 6 0 3 1 0 k 1

参入障壁となる特許の弱点を突き、無効化やクロスライセンスによって障害特許を活用特許へ転換する戦略を紹介。数値限定・パラメータなどの特殊クレームの弱点を見抜くポイントも解説。

後発参入における特許クリアランス実務

～障害特許の見極めと弱点のを見つけ方、“切り札”特許の創出～

講師：湘南国際特許事務所 所長 弁理士、（元）富士ゼロックス株式会社 **牧山 皓一氏**

【略 歴】富士ゼロックス（株）に入社後、記録媒体の研究・開発業務に約 20 年従事。その後、知的財産部にて、研究開発部門の特許出願の権利化活動・他社特許侵害回避のマネージメント、知的財産部の方針及び計画の立案とその展開、特許事務管理・予算管理のマネージメント、知財戦略の立案、技術者・知財担当者の特許教育、職務発明規程の作成、ライセンス交渉等の業務に従事。

2007 年 8 月退社後、10 月より現職。技術者知財教育、職務発明制度の導入・運用、発明創出活動、知財戦略、ノウハウ保護、大学との共同研究等についての企業に対する知財コンサルティングに従事。

●日 程 2026 年 3 月 10 日（火） 13：30 ～ 16：30

●受講料 24,200 円（税込） ※1/12（月）までにお申込の場合、**19,360 円（2 割引）**となります

【プログラム】

1. 参入障壁となる特許（障害特許）を特定する方法

- （1）開発製品の仕様特定
- （2）開発製品の市場導入時期・他社特許の権利の有無に対応して調査対象を絞り込む
- （3）クレームチャートを利用した障害特許の特定
- （4）クレームの解釈
 - ①クレーム解釈の原則
 - ②文言解釈と均等解釈

2. 障害特許の無効化・権利行使の弱点を見つける方法

- （1）公知文献調査のポイント
 - ①出願経過から文献調査の対象を絞り込む
 - ②論文などの非特許文献調査のポイント
 - ③周知技術文献を有効に活用するには？
- （2）裁判例を参考にした公然実施主張のポイント
- （3）裁判例を参考にした明細書の弱点を見つけるポイント
 - ①明確性要件を満たしているのか？
 - ②実施可能要件を満たしているのか？
 - ③サポート要件を満たしているのか？
 - ④特殊なクレームの弱点を見つけるポイントは？
 - ・パラメータークレームの弱点は？
 - ・機能的クレームの弱点は？
 - ・数値限定クレームの弱点は？

3. 障害特許を活用特許に転換するポイント

- （1）クロスライセンスを活用する
- （2）クロスライセンス交渉を有利に進めるための発明の創出
 - ①他社の先回りをして発明を創出する方法は？
 - ②他社特許を囲い込む発明を創出する方法は？
 - ③他社特許の利用発明（外的付加、内的限定）を創出する方法は？
 - ④数値限定発明の活用
 - ⑤先行企業の将来技術を予測して発明を創出する方法は？

4. 参考文献

【講演概要】

後発の企業が対象市場でビジネスを展開するには、先行する企業の特許網を攻略して破らなければいけません。先行する企業の特許網を攻略して破るには、後発企業のビジネスの障害となる特許を特定し、無効化を図る、権利行使の弱みを見つけることが有効な手段となります。

無効化が図れず、権利行使の弱みも見つけれない場合は、障害特許の実施許諾を受けてビジネスに活用する活用特許に転換する必要があります。実施許諾交渉を有利に進めるためには、先行する企業が実施したくなる特許を創出して実施許諾交渉（クロスライセンス交渉）の切り札とすることが効果的です。

参入障壁となる先行企業の特許網を破る、攻略する方法について、具体的な事例に基づいて説明します。企業の知財担当者だけでなく、研究開発者にとっても参考になる内容です。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2026/3/10	後発参入における特許クリアランス実務	受講プラン (複数ある場合)	
会社名※				
所在地※ (請求書等の送付先)	〒			
参加者①	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)			
参加者②	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)			
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する			
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する			
備考※				

※【個人情報の取扱いについて】 ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 https://www.tech-d.jp/privacy/apply_privacy.pdf）。

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	(普) 0973522
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-15 九段大和ビル 3 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		